

♪ 2019年度 **poco a poco** ♪

Nr. 27

2020年3月18日(水)

文責:プファイル・辰巳

コロナウィルス

～ 基本的な生活習慣の見直し ～

世界中がコロナウィルスの危険にさらされています。毎日流れてくるニュースは、刻々と悪化の方向に進んでいます。そして、ついにドイツ中の学校が休校になってしまいました。あと2・3日だから・・・と祈るような気持ちで卒業式・修了式の日を待っていましたが、残念なことでした。

様々な情報が錯綜して、不安に陥ることもありますが、冷静に対処していきたいものです。またこの機会に基本的な生活習慣を見直して、手洗い、消毒、うがい、十分な睡眠、水分補給などに努めましょう。一日も早く、この事態が終息に向かうよう祈っています。みなさま、どうぞお身体ご自愛ください。



ご卒業おめでとうございます！



小学部6年生のみなさん、中学部3年生のみなさん、縮小した形ではありましたが、みなさんの卒業を一緒にお祝いすることができました。おめでとうございます！

みなさんは、それぞれ6年間、3年間の課程を立派に修了し、お一人おひとり新しい目標に向かって飛び立とうとしています。このフランクフルトで学んだこ

とや、培った友情、たくさんの思い出を胸に、自信を持って新しい一歩を踏み出してください。そして、新しい学校や環境の中で、さらに成長して行ってください。みなさんの巣立ちの日を、心よりお祝い申し上げます！

<リコーダーの購入についてのお願い>

新小学部3年生のみなさんへ

小学部3年生では、鍵盤ハーモニカも続けて使用しますが、新しく「ソプラノリコーダー」も習い始めます。できれば、春休み中に購入を済ませておいてください。ドイツの楽器店で購入可能です。(下記参照)

購入の際には、木製のものは高価で、扱いも難しいので、初心者用のプラスチック製をお勧めします。「ジャーマン式」と「バロック式」がありますが、初心者にはジャーマン式が扱いやすいと思います。



新中学部1年生のみなさんへ

中学生から、音楽の授業では「アルトリコーダー」を使用します。(ソプラノリコーダーも続けて使用することもあります。)できれば、春休み中に購入をすませておいてください。こちらでもドイツの楽器店で購入可能です。ソプラノリコーダー同様、木製のものは高価ですので、プラスチック製のものをお勧めします。なお、アルトリコーダーの場合は、使いやすさの点から「バロック式」の購入をお勧めします。

<市内楽器店>

Musikhaus am Dornbusch

Eschersheimer Landstr. 278

60320 Frankfurt

(U1, 2, 3 Dornbusch 駅下車 徒歩すぐ)

Session Das Musikhaus

Hanauer Landstrasse 338

60314 Frankfurt

(市内ですが町はずれありますので車で行かれるのがよいと思います。駐車場あり。)

今学期で、本校を去られるみなさまへ

“音楽は生涯の心の友
世界の共通語”

修了式が前倒しになったこともあり、最後のお別れを惜しむ間もなく、ちょっぴり寂しい最終日になりました。

日本へ帰られましても、また世界中どこに行かれましても、お元気で活躍されますようお祈りしています。そして、年齢が進んでも、大人になっても、音楽を愛し、人と人とのつながりを大切に、たくましく生きていってください。

また、いつかどこかでお会いできる日の来ることを祈りつつ……。

Alles Gute und auf Wiedersehen !!

4月から本校にて進級・進学されるみなさん

先の見えない春休みとなり、不自由なことや不安なことも多々ありますが、みなさまどうぞ、お身体を大切にしてください。そして、この状況を、なんとか元気に乗り切りましょう。

4月からひと回り大きく成長したみなさんと、また一緒に勉強できる日を楽しみにしています。

最後に ちょっとだけ 音楽こぼれ話

〈こんなところにも コロナの影響が…〉

本来なら、春休み中にゆっくりコンサートなどにお出かけしていただけるように、ここで演奏会情報をたっぷりお知らせしたいところです。

けれども、ご存知の通りコロナウィルスの影響で、コンサートホールもオペラ座も、人が集まるところは美術館やサッカー場と同様に、ただ今閉鎖中です。現在のところ4月末日までとなっています。

音楽を聴きに行くことができない私たちも寂しいですが、ここで演奏家の方々の立場からも、この事態を考えてみてください。仕事柄、演奏家の友人・知人がたくさんいますが、コンサートが次々とキャンセルになって、「商売上がったり…」という状況に陥っています。YOUTUBEなどで、観客のいないコンサートや、自室での演奏を発信しているのを最近耳にするのは、こういう状況だからです。

ホテル業や外食産業、観光地で働く人々に加えて航空会社、旅行会社や観光バス会社、そして上記の演奏家もしかり。まだまだ数えるときりがなほど社会のそここで、コロナウィルスの影響が出てきています。テレビやネットでその様子を垣間見ても、心が痛む今日この頃です。

学校がお休みになって困っている共働きのお母さん、コロナウィルスを持ち込まないようにとの配慮から、だれも訪問者が来ず、グループ活動もできずに寂しい思いをしている老人ホームのお年寄りたち、楽しみに計画していた結婚式も、人が集まるからと祝いきなくなったカップル……どこまで伸びるかコロナの魔手。

視点を変えると、私たちの普段の生活がどれだけ自由で、恵まれているのかということが感じられる現在の状況です。イタリアその他の国々では、外出もままならない状況が続いていますが、そんな中、ご近所さん同士ヴェランダで音楽を演奏している姿がニュースで放送されていましたね。困難な状況の中でも、希望やユーモア、前向きな姿勢を失わないところは見習いたいものです。

一日も早くこの「コロナ狂騒曲」が終息し、仲間と集まって音楽をしたり、演奏会に足を運んだりできる日が戻ってくるようにと祈っています。